



★★今月のテーマ★★

- ・生活のリズムを整え、元気に過ごす。
- ・お正月遊びなど、みんなと一緒に遊びを楽しむ。



～今月の園内学習～

- ・足し算…9の段
- ・掛け算…9の段
- ・歴史カード…「最澄」ほか
- ・国旗カード…ヨーロッパ地方
- ・絵画カード…「考える人」など
- ・地理カード…中国地方
- ・声に出して読みたい日本語  
…『五重塔』幸田露伴



～保育のワンポイント～

乳幼児期のこどもに何か教える際、戦後教育の流れでこどもの(決められた事を指示されることなくできる)自主性の尊重、(丸暗記でなく)もごとの理解の下で学習するといった流れが定着し、最近では「こどもの(自分で考え、目的を持って行動する)主体性」を重んじる動きも加わった取組みをしているのが現状ではないでしょうか。ただ、片言の言葉しか話せない、あまり社会体験もない乳幼児期の子には(物の善悪など)論理的な思考力が十分備わっているとは言い難い時期である一方、逆に大人のような批判的、分析的な視点がない白紙状態であるが故に、理解や納得を必要としない吸収力を持っていると言ってもいいかもしれません。例えば、(パターン認識の月齢期には)自動車の車種やメーカー名や難しい漢字などを言い当てたりする子を見かけたりするのは稀ではありません。この時期、こどもを自由放任の状態にしてしまうと悪いものも無差別に吸収し、人間としての下地が出来上がってしまうことにも繋がりかねません。この時期は、大人がむしろ言葉、音楽、文字、図形などといった知的な頭脳活動の素地をつくるパターンの繰り返しの一つと「命は尊ばなければいけない、自分のことだけでなく他人にも目配りできる、自分のことは自分でする」といった人として生きる上での(社会的規範・倫理感といった)基本的なルールやマナーの二つの両方向からこどもに教え込むことが必要と言えます。つまり、「三つ子の魂百まで」と言われる)幼児期のこのような知的な学習やマナーなどを教え込むことにより、その人となりとして血肉化して育ちとして形成されることから年齢を重ねた後に習得する場合と比べた場合、明らかな違いとして出てくるとの指摘もあり、大事な視点ではないかと思ひ、ご紹介させていただきました。

～0歳からの母親作戦(井深大著)より抜粋～



「ひよこ」と「りす」組だより



冬の寒さがようやく身に染みる季節となりました。こどもたちは寒さで頬や鼻っ柱を赤らめながらも、笑顔で遊んでおり元気をもらえる気が沸き起こってきます。クリスマス会では、サンタクロースの前触れのない登場にフリーズ気味でしたが…中には、最初から興味感心を前面に覗かせて関わろうとする子もいました。それもサンタからのクリスマスプレゼントを受け取る頃には全員笑顔となり、場も和んでいたのも何よりでした。大そうじでは、その意味合いの説明を真剣なまなざしで聞き入り、床や椅子など日頃、使用しているところを自ら雑巾で拭き拭きし、ピカピカにしていき、その出来映えに満足そうでした。これから寒い冬が続きますが、感染症に十分気をつけながら過ごしていきたいと思ひます。



「きりん」と「こあら」組だより



クリスマスや年末に襲来した寒波で身体が縮こまる思いにさせられて季節が改めて「冬」だと実感させられる今日この頃。みんなはそんな寒波もどこ吹く風といった風情で元気一杯、ニコニコ笑顔で戸外あそびを楽しんでいます。きりん組はお散歩大好き、友だちとの手繋ぎ歩きも堂に入ったものとなり、余裕たっぷりの歩きっぷりに魅了されています。こあら組は目下のブームは「鬼ごっこ」で広い公園内を所狭しと逃げ回る子をめがけて追い回すという、寒さを吹き飛ばすのに一役も二役も買う遊びっぷりです。先月は「ホホホ〜っ」と場を和ます笑い声でみんなにクリスマスプレゼントを届けてくれたサンタさんと和気藹々と楽しいひとときを過ごして一年の最後を締めくくることができたのは何よりでした。その後は、園の年末恒例行事の大掃除ごっこで日頃自分たちが使用している机や椅子などを磨き上げられたので新年の準備万端といったところとなりました。来年も明るく元気に楽しく過ごしていけるようにしますのでよろしくお祈いします。



「ひつじ」と「ぞう」だより



「光陰矢の如し」で一年も過ぎてしまうとあっという間です。暑さばかりに注目されがちでしたが、本来の寒さで感染症拡大が心配される「冬」が戻ってきて、みんなは「こどもは風の子」で寒さを跳ねのける勢いで元気一杯で頼もしい限りです。戸外あそびは異年齢で大きい子が小さい子をエスコートする形で公園やお散歩する形が定着し、広い公園内では早速、こどもたちがお気に入りの鬼ごっこなどで面白可笑しく楽しい時間が流れているのが何よりと感じています。先月はクリスマス会に向け、準備を着々と進め、心待ちにしていた当日はサンタさんの登場に興奮気味に質問コーナー等、さかんな交流後にお目当てのクリスマスプレゼントをもらって大満足の様子でした。1年の最後の最後は保育室の大掃除で室内を綺麗にし、清めて新年を迎えられるようにみんなで雑巾で目につくところを中心に手分けして掃除に当たりました。これから年末年始の行事や寒波等で体調を崩しやすい時期ですが、新年から元気にスタートダッシュをし年度末を締めくくっていききたいと思ひますのでよろしくお祈いします。



給食だより

～よい腸内環境で免疫力向上させ元気一杯～



免疫力とは「疫(病気)を免れる力」のことで、以前かかった病気は再度かからないようブロックする生体反応を指します。例えば、身体にとって良くないインフルエンザのウィルスの異物などの侵入を防いだり、発生したがん細胞を抑え込むといったことが挙げられ、その高低が健康体の維持に大きく関係してきます。そこで、「腸内環境」、「善玉菌」や「悪玉菌」などをよく耳にされることがありますが、それは腸が「摂取した食べ物を消化・吸収する場」なので、食べ物と一緒に吸収する可能性のあるウィルス等をブロックするために身体全体の免疫細胞のなんと約7割が集中していて、異物の侵入を防ぐのに一役を買っているのです。ですから、栄養バランスがとれた、規則正しい食習慣が腸内環境を改善して、その働きを活発にさせることが一人ひとりの健康維持増進につながると言えます。では、腸内環境(細菌)を活発化させる方法はまず(1)ベジタブルファーストで菌の栄養になる食物繊維を摂ることで菌を産生させます、(2)(腸)お腹を温め、体温が0.5度上がれば免疫力が30%上がると言われています、(3)「シンバイオティクス」※を実践しましょう※…善玉菌を多く含む食品(プロバイオティクス)と、その栄養となるもの(プレバイオティクス)を組み合わせる食べ方です。前者はビフィズス菌や乳酸菌や納豆菌などで発酵食品が挙げられます。後者は善玉菌を増やす成分を含む、水溶性食物繊維やオリゴ糖などで野菜や果物、こんにゃく、海苔キノコ類が挙げられます。最後に(4)ストレスを溜めず、心を健やかに過ごすことも必要です。

♪今月の歌♪  
◆コンコンクシャンのうた  
◇雪のペンキ屋さん

～行事予定～

- ・保育始め…6日
- ・書道教室…9日・16日・23日・30日
- ・体操教室…10日(きりん組/ひつじ・ぞう組)  
15日(ひよこりす組/こあら組)
- ・音楽教室(オカリナ)…14日
- ・身体測定…20日(幼児)  
21日(乳児)
- ・英語教室…22日(幼児)  
24日(乳児)
- ・リズム教室…23日(乳児)  
27日(幼児)
- ・避難訓練…28日
- ・お誕生日会…29日

おめでとう♡